

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和4年度第1回松阪市健康づくり推進協議会
2. 開 催 日 時	令和4年6月14日（火）午後1時30分～午後3時15分
3. 開 催 場 所	松阪市健康センターはるる 3階健康増進室
4. 出席者氏名	(委員) ◎平岡直人、○長井雅彦、太田正隆、中村文彦、濱口早弓、馬場啓子、山本勝之、西川賢子、竹上昌美、岸江伸浩、太田正澄、平岡令孝、山路由美子、酒井由美、松澤和美、廣本知律 (顧問) 池田 凡美 (◎会長、○副会長) (事務局) 竹上真人 健康づくり課: 糸川、藤牧、松田、森本、田島、西口、蒲原、大西、白木、清水、梶間、美馬、安保、後藤、橋本 各地域振興局: 野口、西浦、中川、小林、下岡、上阪、谷口 (オンライン) 計画策定委託業者 株式会社名豊: 池上
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1名
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TFL 0598-20-8087 FAX 0598-26-0201 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

事項

1. 委嘱状・辞令の交付
2. 市長挨拶
3. 委員自己紹介
4. 会長・副会長選出

5. 協議事項

(1) 第2次松阪市健康づくり計画進捗状況について

- ・令和3年度健康づくり推進事業実績報告
- ・令和4年度健康づくり事業実施計画

(2) 次期健康づくり計画策定に向けた「市民意識調査」について

議事録 別紙

令和4年度 松阪市健康づくり推進協議会 会議報告

日 時： 令和4年6月14日（火）13：30～15：15

場 所： 健康センターはるる3階 健康増進室

出席者：〔委員〕平岡直人（会長）、長井雅彦（副会長）、太田正隆、中村文彦（オンライン）、
濱口早弓、馬場啓子、山本勝之、西川賢子、竹上昌美、岸江伸浩、太田正澄、
平岡令孝、山路由美子、酒井由美、松澤和美、廣本知律

〔顧問〕池田 凡美（オンライン）

〔事務局〕（市長）竹上真人

（健康づくり課）糸川千久佐、藤牧郁子、松田徹、森本亜由美、田島栄子、
西口裕登、蒲原豊子、大西郁子、白木智子、清水尚美、
梶間望、美馬ちづる、安保順子、後藤優尚、橋本嘉寿子

（地域振興局）野口伸也、西浦美奈子、中川幸美、小林一雅、下岡文代、
上阪伸子、谷口幸（オンライン）

（計画策定委託業者 株式会社名豊）池上真一

配布資料：

- ・松阪市健康づくり推進協議会事項書
- ・委員名簿
- ・松阪市健康づくり推進協議会規則
- ・第2次松阪市健康づくり計画進捗状況シート
- ・「令和4年度 松阪市健康づくり推進事業」冊子
- ・「第3次松阪市健康づくり計画策定」について
- ・令和3年度松阪市保健統計報告書
- ・第2次松阪市健康づくり計画本冊子
- ・第2次松阪市健康づくり計画ダイジェスト版（3種類）
みんなが輝くいきいき健康なまち・結婚新生活編・中学生編
- ・松阪市健康マイレージ

議事要旨：

1. 委嘱状・辞令の交付（竹上市長）
2. 市長挨拶

松阪市の健康づくりとして、第3次松阪市健康づくり計画を最終的に作っていくということになります。ご協力をお願いいたします。コロナについてはまだ収束まではいきませんが、ウイルスは弱毒化しており重症化しないということが明らかになっております。これからの季節、夏場に向かいますので熱中症も非常に心配です。特に子どもたちの登下校中や体育の授業等にマスクつけながら活動をしますと、本当にそちらの方が危ないということもございます。熱中症を防ぐため、屋内、屋外でのマスクの着用をお考

えいただければと思っております。また、4回目のワクチン接種も始まるところでございますが、4回もうちたくないという声もたくさんいただいております。しかしながら、ワクチン接種をすることによって感染リスクは相当、制限されるということもありますので接種を勧めていきたいと考えています。これからコロナが収まることを見越しながら市民の健康、そして暮らしを支える努力をしていきたいと考えておりますので、委員の皆様方には熱心なご議論をいただきますよう、お願い申し上げます。私の方から、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。2年間、どうぞよろしくお願いいたします。(市長は他の公務があり退席)

3. 委員自己紹介 〈各委員から自己紹介〉

4. 会長・副会長選出

会長副会長につきましては規則第5条に規定しております委員皆様より選出。

会長に松阪地区医師会副会長の平岡直人様、副会長に松阪地区歯科医師会会長の長井雅彦様をお願いいたします。

5. 協議事項

(1) 第2次松阪市健康づくり計画進捗状況について

・令和3年度健康づくり推進事業実績報告

・令和4年度健康づくり事業実施計画

事務局より第2次松阪市健康づくり計画進捗状況シートに基づき、「令和3年度健康づくり推進事業実績報告」と令和4年度健康づくり事業実施計画〉説明。

会長：事務局から報告がありました。ご意見ご質問はございませんか。

委員：先程、委員のご挨拶で75歳以上の方の勉強をしていきたいとのご発言がありましたが、おそらくこのなかで勉強することは何もないだろうと思います。なぜかと言いますと、若い人向けであり(市民の)3分の1は高齢者の方ですが、若い人には「メタボ」と「がん」、ある程度の年齢になられると「フレイル」と「認知症」です。どこかでギアチェンジをしていかないといけない。どこから(ギアチェンジ)かと言ったら、今、言われているのは、65歳から75歳の間でしていかないといけないということを言われているがどういう考えなのか。もう一つはこれも提案ですが、行政の計画というのは押しつけがましい。例えば、フランスのマリーアントワネットが「国民が飢えている状態のなかでチョコレート食べたら」と言った。これと一緒に、「野菜食べたら」というのも、市民の生活にこの計画が寄り添っているのかと言いますとちょっと難しいところがある。「誰もが野菜を食べるというだけでよいのか。市民の生活に寄り添った計画をたててほしい。」以前にも「野菜を食べよう」については論争しましたが、「野菜を食べて」と言うが、年寄り野菜を食べており、

「肉や魚を食べよう」と言うことが高齢者の方には適している。これまでも「野菜を食べよう」で良いのかという点でずっと話しをしてきましたが、そのあたりはどのようなかということをお聞きしたい。

会長：事務局お願いします。

事務局：健康づくり課では、健康増進法、母子保健法に基づきまして、この計画を策定しております。介護保険法に基づいた65歳以上の健康づくり、介護予防につきましては、高齢者支援課が現在、取り組んでいるところです。同じ市民の健康づくりということで、もちろん連携はさせていただいているところですが、計画を1つではなく、健康増進法、母子保健法に基づいた主な健康づくりの取り組みということでご理解いただきたいと思います。

市民にとって、押しづけがましいのではないかというご意見もいただいたのですが、行政だけでなく、市民のご意見をいただきながら、ともに健康づくり活動ができるように、今後も2年間をかけて、市民の意見も聞いていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員：市民はこれを見たら、松阪市民全体の計画だと思えます。それが行政（担当課）によって変わってくる。いわゆる縦割りであまり連携しているとは思えない。僕は両方の会議に出ており、向こうでも同じことを言っているのですが、連携してうまくいかなかったり、ギアチェンジしないといけないということをやりたいのですが、そういうことがあまりできていない。65歳以上の方が同じように思うわけです。

「押しづけがましい」というかは捉え方によるかと思いますが、これだけは何とかしてほしい。5期めでもあり、ずっとこれまでも同じことを何度も言っているがあまり変わっていない。

会長：他にご意見ございませんか。

委員：報告を伺いまして、子育て支援のところでご意見申し上げます。

6ページ目です。「笑顔で子育て楽しく子育てしよう」というところですが、「松阪版ネウボラ」ということで、乳幼児の親子へのサポートについて松阪市は非常に手厚いと思っております。私もちょっと産後うつ等の経験があったのですが、悩みを相談するという窓口が設けられているというのは子育てをする方には非常にサポートだとトになると思えます。ですが、乳幼児以上の小学生より上の年齢の子供たちの健康について今、非常に懸念しております。私の娘も小学4年生ですが、実はクラスで眼鏡をかけている子どもの率が非常に上がっているということを知りました。いろいろと原因は考えられると思うのですが、ゲームであるとか、暗いところなどでしている。報告として、1日13時間ゲームの画面を見ているということも聞いております。眼については、課題にあがっていないのではないかと思います。子育て期の親として非常に懸念しているところがございます。また、子育て期の親の世代が、スマホに向き合っている親御さんが非常に多いなという感じがします。SNSを見ていると面白いのでずっと何時

間も見えてしまい、子どもが何か話し掛けていても集中する相手はスマホの方で子どもとの対話がすごく減っているということをよく耳にします。子どものメンタルについて、お父さん、お母さんが自分のことを振り向いてくれないとか、あまりかまってくれないというような、そういうことにもなっているのではないかと、また親の方も、その子どもに集中しているようで実はしていないのではないかと、いろいろな声を聞きまして、メンタルであるとか、そのような現場をもう少し、皆さんで見えていったほうがいいのではないかと感じております。

委員：栄養のこともそうなのですけれど、今、私、3世代で暮らしています。昔、私達みたいな昔の人間は何もかも作って食べるといういろいろな工夫をしたのですが、今はちょっとお湯をかけたら食べられるとか、ちょっと何かをしたら、とろりとしたものが食べられるとか、とても多様化してきたというようなことがありまして、楽に食べていけるというところでは、ありがたいなあというふうには思います。地域を見てみますと、年を重ねた人は自分でいろいろなものを工夫して作って食べています。でも、40代、30代の若い世代の方々がそのようなインスタントものを使ったり、若い、子どもや娘の世代の方が「もう今日はこれで良いわ」というような感じで安易なものを食べている。こんなんで栄養摂取というのが全般的にうまく摂れているのかと不安もあるのです。今の小中高校生ぐらいの食事に対しての実習等色々な取り組みはそれぞれで一生懸命やってはいただいているとは思いますが、インスタント化していくか、安易なものになっていくとかそのようなものを、保護者の方がきちんと理解しないで「買って来て食べていても知らない」というようなことが多かったです。このようなことはどのように掴んでいけばよいのかなと思っております。

会長：これに関してはいかがですか。

事務局：これからの食習慣ということで幼児健診等ことあるなかで、小さい頃からの習慣について保護者さんと一緒に考えていけるとよいと考えています。日々の積み重ねになってくると思います。ここは専門的なところで何かご指導いただけるようなことがあれば、よろしくをお願いします。

委員：食が非常に多様化しているというのは、もう押さえきれない状況でもある面、また、委員からのご発言にあった、悪い面というか欠点もあります。簡便に、簡単に食事がとれる環境というのは、このメリットをやっばり捨てきれない部分があります。限られた時間や便利に暮らしていくというところから、うまく利用していくということ、これは決して否定はできないと思います。ただそこに、もう少し加味していくとか、またはそれだけにならないで全体的にバランスが取れているのか。それが多すぎたり、少なくなっているものはないのかを各自が簡単にチェックできるようなこと、セルフチェックのシステムを提案できたらいいなと思っております。また、先ほど提案がありましたが、若い方にはメタボの問題があります。食べ過ぎ、摂り過ぎ、偏った食の問題です。高齢者になってくると、今度はタンパク質をもっと

摂っていただかなければいけない。そして、計画の成果にもあがっていますが、運動は取り組みをされている方が増えてきています。とてもいいことですし、健康づくりが進んでいっている成果が指標につながっているのですが、運動で使ったエネルギーや筋肉の損傷等を補えるような食生活ができていないのか、そこができていかないとフレイルというところになってしまいます。若い方もフレイルが関係ないのかということと成長期の子供たちでも激やせ、給食の中でも、牛乳も残食率が非常に高い。カルシウムやたんぱく質をしっかり摂らなければいけない年代で、そこがほぼ落ちているという状況があり、各世代で問題が山積み状態です。ですので、総花的にこれを出せば、全世代をカバーできるという方策はなかなか難しいと思いますが、ここにいろいろな世代、またいろいろなところで関わっている代表の方が集まっています。意見を集め、ちゃんと取り組んでいかないといけないという気がしています。簡単に（バランスが）チェックができるような方法等も今度、新しい計画を立てていくところに組み込めていけたらなというふうに思います。あと統計はデータで何%とか達成率が数字化されますが、やっぱり出てくる数値だけじゃなくて市民や身近な人たちが、それを感じて一人ひとりが向上、改善していこう、改善していけるというようなところにつなげていけたらいいと考えています。指標のなかで「食塩摂取量の目安を知っている人の割合」について出ていたかと思います。この減この減塩については目標になる数値がこの計画の期間中に変わってきました。変わってきていることをご存知ない方に「減塩取り組んでいますか」という質問だけになると、数値変更していることを知らないなかでのアンケート回答となるので、数値変更について周知徹底をしておくべきところがあるのではないかと思います。

委員：いろいろ頑張って、統計を出していただいとうまくいっていると思います。いい傾向にあるのだらうとは思いますが、ただ一つ、1 ページのがんの検診受診率が10%ですね。今、国が指針として示しているのは、50%です。例えば、欧米、ヨーロッパやアメリカでは、検診率はだいたい70~80%とされています。ということは10%では全然、目的に到達するわけがない。ほど遠い状態です。2021年の1月から10月までの統計を肺癌学会が出していますが、この肺がんの統計で、肺がんの発症率が6.6%減りましたと言っています。この6.6%を人数でいうと、大体8,600人と言われていますが、8,600人の肺がんの早期の発見者が減ったということはどういうことを意味するかというと、早期のがん発見につながる検診率が下がったということではがんが発見されなかったということになり、2年、3年先に進行がんとして肺がんが出てくる可能性が高くなる。がんは早期に発見すれば必ず、安い治療費で治すことができます。進行がんの場合は、抗がん剤を使う特定の進行がんのための先進医療が必要になる。そうすると1人に何千万円もお金がかかってくるわけです。いかにその国家予算を無駄遣いしているかということに他ならないわけなので、そういったことを肺がんだけで言いますと、大体6,000人で済みますが大腸がんとか胃がんやあるいは他のが

人などを比べ、足してみますと、おそらく 6~7 万人の人が早期発見を見逃されていた、要するに検診を受けることができなかったということになります。いかにそれが予算、お金の繋がってくるかはよくわかっていることなので、この検診率 10%は全然論外なので、最低でもやっぱり 30%ぐらいは、検診を受けていただくと、30%受ければ、かなりの人数の早期がんを見つけることができる。そうすれば、がんの治療費も安くなるということはわかっているので、そのがんの検診受診をもっと増やすということをどうすればいいのかを考えていただかないと、松阪市内の医療費の負担率も高くなります。そういった意味で、検診期間を長くするとか、もう少し皆さんに受けていただくような機会を増やしていくようなことにしないと駄目だということになります。先程、「食」の話も出ましたが、過食で肥満の方が非常に増えてきているのですが、現在、日本の国家予算の 5%ぐらいは医療費であり、過食のために起こった高血圧、高脂血症あるいは高尿酸血症などの病気の治療費にかかっています。国家予算の 5%で少ないように思いますが、松阪市の予算よりもずっと多いです。100 倍ぐらい違うと思います。計算してみたら、分かると思いますがそれぐらいに、いかにお金を無駄遣いしているか、健康を失うことによって無駄にしているということです。長野県は、塩分の摂り過ぎで 1 日 20 g 摂っていたのですがそれを 12 g まで減らした結果、長野県の高血圧者数がかなり減って、日本中で最長寿命県になり、しかも、60 歳、70 歳になっても健康で長く仕事ができる高齢者が増えたという実績が出ており、この地域でもそれもできるはずなので、是非ともそういった高い目的を持って、きちんと行政が取り組むという心構えがやっぱり必要になってくると思うので皆さんの更なるご努力をお願いしたいと思います。

会長： はい。ありがとうございます。それでは、協議事項 1、健康づくり進捗状況についての協議はこれまでにいたしまして、次の事項にいきたいと思います。

5. 協議事項

(2) 次期健康づくり計画策定に向けた市民意識調査、市民アンケートについて

会長： 協議事項 5 (2) 次期健康づくり計画策定に向けた市民意識調査、市民アンケートについて事務局から説明をお願いします。

事務局： 事務局より、次期健康づくり計画策定に向けた市民意識調査、市民アンケートについて説明。

会長： はい。ありがとうございます。回収率の目標はありますか。

事務局： 今回の回収率の目標値の設定は特にありませんが、前は 38.0%でしたので、それよりも高い回収率が得られるように Web での回答も入れさせていただきました。回収率が上がるように努めたいと思います。

会長： はい、わかりました。ありがとうございます。それでは、この事項について、ご質問をいただきたいと思います。Web でご視聴いただいている先生・委員も含め

て、どなたかご意見ないでしょうか。

委員：このアンケートと先ほどの審議と絡んだ形になりますが、今、アンケートに出ているのは結構、数字で結果が出てくるだけのものが多いと思いますが、添え書き的な形で意見とか、少し質的な評価の部分もアンケートのいろんなところにちりばめていただいてもよいのかなと考えます。先程、委員からもお話のあった量的なものだけでは判断できないものも必ずあると思うので、具体的に気づいたことであつたりとか、何か感じたことも少し入れていくと、それが生活につながった形で、市民の様子が見えてくるのかなというように思います。今回、商工会の方にも入っていただいていると思いますが、今すごく物価が上がり、黒田総裁の言葉がネットでも盛り上がっている状況がありますが、やはり、運動するにしても食事するにしても、経済状態と必ず関連してくると思うので、ざっくりでいいと思いますが、経済的な部分を少し入れるような形があればよいと思います。それが例えば、検診とか、食生活や運動などと関連性があるのかもやはりみていかないとなかなか難しいのかなと思っています。また、先ほどの審議に関係することですが、このアンケートが歯と口腔の健康づくり計画と合わせて2つを絡めた形でというのはよくわかったのですが、例えば、(国や市の) いろんな計画があつて、それとの関連とか、それからあと対象となる人はどうだろうかとの話が出たのですが、この健康づくり計画の冊子1ページのところに、国や県の上位計画と並行した形で松阪市の計画があり、市のいろんな計画を並べてありますが、その一つ一つの計画がどういう計画なのかは市民にはわかりにくいというように思います。ですので今度、冊子を作る時にはもう1枚挟んでいただき、それぞれの計画で重なっているものがあるのか。対象がどこにあるのか、目標としているような部分はなにかというように簡単な説明でよいと思うのですが記載してあるとよいと思います。松阪市の計画が縦に繋がっている。関連している部分が市民に見えると1人の人として、繋がっているということがわかるようなページが1枚あればいいのではないかと思います。

会長：ありがとうございます。アンケートの内容に少し工夫が、できないかあるいは経済面との関係、それから健康づくり計画についてももう少し市民にわかりやすいような説明など、というご意見でした。

委員：アンケートが30%の人からしか返ってこないっていうのは、全く無駄のような感じですか。項目も答えられるかという答えが途中で嫌になると思います。何がどうかと言うとやっぱり先ほど、最初に発言したように、上から目線で聞いているという感じであり、アンケート自体もちょっと難しいように思いますし、質問の数も多い。もうちょっと簡単に、わかりやすくやっていただくと、多分返ってくるかなと思います。このままだったたら、今までのことと何も変わらないということになってくるとは思います。答えようかなというようにやってもらうとよいのではと思います。それと中学生対象のアンケートにある、喫煙のところですが、なぜ受動喫煙な

のか。直接タバコ吸ってはいけないというほうがよいのでは。かなり配慮しての質問なのではないか。「タバコを吸ってはいけないよ」というほうが、いいのではないかと思います。

会長： 受動喫煙はしないということですかね。それでは、今いくつかご意見出ましたが、学校の現場からはいかがでしょう。

委員： このようなアンケートをしていただいていることを知らなかったもので、今日ここに来させていただいていろんなことを知ることができましたし、こうやって検討していただいて、子どもたちを含めた食生活、健康づくりというものを考えていただいているということにすごくありがたいなという思いをさせていただいています。中学校で家庭科の教諭をしていたなかで食生活についてはとても大事であることを中学に入学した生徒に話をしていました。「朝食を食べる、食べない」であるとか、「自分でどの程度作るようになる」であるとか、ただ、家庭科の時間がとて少なくなってきた現状がありますので、自分が習ったときほど実習の時間は持てないし、家庭科で教えるということがなかなか難しいことが増えてきたのも現状です。また、子どもたちは家庭の事情など、子ども自身ではどうしようもない、子どもを取り巻く事情というのは本当に複雑で教員がわからない、まだ掴みとっていないというようなこともいろいろあります。子ども自身にアレルギーがあるなどご家族含めて、子どもの命を守るために大変なことをされているようなご家庭、本当に食に関して健康に関していろいろな配慮も必要で多様化しているというのが現状だと思っています。このような現状を市や学校以外の機関で把握してもらい、よりよく努めようとしていただけることは本当に大切でありたいことと思います。現状は多様化していますので、非常に難しいということもあると思います。よりよく、現状からできるだけということを目指して、考え、進めてもらえればありがたいなというように今日、お話を聞いて思いました。

委員： アンケート調査ですが、先ほど委員の方が言われたように前回は37.6%ということですが、私、この37.6%というのは非常に立派な数字だと私は感じています。たくさんのご質問があり、ともすれば市民の方からみれば煩わしいことであってもそのあとにつながる健康づくりに反映するということを理解していただき、ご協力をいただいたということからいくと37.6%という数字は素晴らしい数字であると私は思っています。こんな提案はどうかと思われるかもしれませんが端的に回答率を上げようと思ったら、何かやっぱりインセンティブをつけるとかということになるかと思っています。このアンケートが「何のため」というようなものがもう少し理解が深まれば、よりたくさんの方が、この健康づくり計画策定に向けた、アンケート調査に積極的にご協力いただけるのかなというように思います。一方では数字を上げるという意味では先ほどのような提案が可能かどうかは別にして、挙げられると思います。健康づくり計画策定がゴールであれば、まず、行政が組み立てたものに

対してどのように肉付けをするか、していくのが健康づくり推進協議会の役割であるのかと考えます。それとも一方では、やはり健康というものを先ほど委員も発言されていましたが、経済いわゆる収入などの意味の部分とどのような関係性があるのか（関係性があるのかなと自分は思いますが）検診の受診率なども一度、検証材料として、いろいろな角度、切り口から、先ほどより多様化という言葉も出ていますが、そちらの方も標準的なものをきちっと網羅できるようになればいいなあということで少し提案をさせていただきたいと思います。以上です。

会長：はい。ちょっと違った切り口からのご意見で、非常に勉強になりました。ありがとうございました。それでは続きまして、ご意見、お願いしたいと思います。

委員：アンケートのその趣旨が明確になるとよいとの意見ですが、私もそう思います。ぜひ、個人一人ひとりの意識を向上させることが、大事だと思うので、学校でも食育などの指導をされていると思いますが、ご家庭でもたくさん、お話されているような形にしていけるといいなと私も思っています。地域で皆さんに健康料理の伝達をしているのですが、料理するだけにならないように、できるだけ、いろいろなことをお伝えできるようにしたいとは思っています。いろいろと模索しているところですが、できれば、自分たちの思いを皆さん一人一人に理解していただけるように料理教室をしていければいいなと思っています。

会長：はい。ありがとうございました。それでは、本日、ご発言いただいていない委員、どなたかご意見、ございませんか。

委員：このアンケートから少し外れますが、コロナのため成長期の子ども、子どものルーティンが大きく変わってしまいました。今まで学校の休憩時間は外で、帰ってきて友達と遊ぶ。そしてスポーツクラブなど専門的に習いにいくということがありましたが自粛で、大きくルーティンが変わってしまいました。成長期の子どもの運動は学校の体育の授業だけでは絶対足らないのです。中学校のクラブは学校の先生が教える時代ではなくなってきている。どんどんとスポーツ止まりしていく子どもが増えてくるのではないかなというようなことを少し心配しています。何としたらいいだろうかというなかで松阪市は三重まつさかマラソンがあります。このマラソンを通じて私たちにできることは何かないのか考えています。究極の健康づくりとはなにか聞かれたことがあります。一口でと言われたら「歩行力の強化」だと思います。足を鍛えることをもっともっと考えていかなければいけないということです。松阪市もウォーキングサポーターが70名になりましたが、サポーターにも伝えていければと考えています。また、福岡県では、有酸素運動と筋力づくりが両方できる「スロージョギング」に取り組んでいますが、何とか松阪市もウォーキングから進化してインターバルウォーキング、ジョギングというように足を鍛えることをもっともっと、やっていけたらと思っています。

顧問：今年もですがこの何年かは、ワクチンだけでも大変だったと思います。また、その対策などで医師の皆様にはとてもいろいろ頑張ってくださいました。まずはこの場をお借りして申し上げます。ありがとうございます。市民のために一生懸命やってくださったと思います。資料1を拝見させていただきました。いろいろなところの会議に出席させていただいていますが、よく書けているなあと思います。ワクチンで忙しい中で、一生懸命頑張ってくださいって、いろいろ批判はあると思いますが私ども行政は今も、上から目線というこの耳が痛いお言葉もいただきましたが保健所でおそらく市役所の方も市民の立場に立って職員も努めていますし、そうだと思います。ただ、発想としてお役所的な、ステレオタイプに私ども含めて出してしまうことは、本当に市民の皆様のご期待に沿えなくて申し訳ないのだと思います。ただ本当に手前みそになるかもしれませんが、同じ行政の立場として市役所の方々もどんなに大変だったかということは本当にわかりますので、まずは本当にありがとうございました。またこういう会議を開いていただいて皆様の忌憚のない意見を聞かせていただきました。また、市役所も考えてくれると思いますので、よろしく願いしたいと思います。

会長：以上で、協議事項を全て審議させていただいたということで、委員の皆様、協議についてご承認いただいたということでよろしいでしょうか。

(委員承認)

会長：はい、ありがとうございました。では、時間をオーバーして申し訳ないです。まだまだご意見もあろうかと思えますけれども、ここで事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局：平岡会長、委員の皆様ありがとうございました。本日は委員の皆様から本当に多様な視点からいろんなご意見、ご提案いただきまして本当にありがとうございました。本日はいただきましたご意見も参考にさせていただきながら、今後作業の方も進めていきたいと思っております。なお、先ほど少し触れさせていただきましたが、次回の会議の開催につきましては別途またご案内を申し上げる予定ですが、来年令和5年の3月頃に今年度、第2回の会議を設けさせていただきたいと考えておりますのでよろしくご協力を賜ればと思います。

それではこれもちまして、令和4年度第2回松阪市健康づくり推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

<15時15分 終了>